



No. 115

発行人 澁澤 茂

発行所・事務局 一般社団法人千葉県社会福祉士会

〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港4番5号

千葉県社会福祉センター5階

TEL 043-238-2866

Fax 043-238-2867

<http://www.cswchiba.com/>

E-mail: [office@cswchiba.com](mailto:office@cswchiba.com)

## 特集 「新体制、始動」



新しい会長のもと、新体制が始動します。

新体制の理事について、千葉県社会福祉士会員からは多くの方が新任となりました。

私たちの身近にも感じられるようになった、孤立、経済的格差、差別の問題。

脅威を増す、豪雨や洪水、地震などによる自然災害。

課題解決のため制度が新しくなり、支援方法も多様化しました。新体制のもと、千葉県社会福祉士会に蓄積された知識やネットワークは、更に深化と展開をしていきます。

### 《 特集 》

- 2 会長挨拶
- 3 特集 新理事紹介
- 7 ストレートネックマンの部屋
- 8 地域集会
- 10 外国人労働者支援から考える多文化共生社会
- 11 社会福祉士のわ
- 12 事務局便り

介護保険外サービス  
福祉に強い便利屋  
グランドール



とにかく何でもやります！  
☎ 080-8166-3774  
<https://benriyagrandeur.com>

総合葬祭 二葉

ご事情に合わせてお手伝いさせていただきます。葬儀費用やご遺骨のお預かりにつきましてもお気軽にご相談ください。

◆永代供養墓 3.3万円 (税込)

◆直葬 16.5万円 (税込)

24時間365日対応

0120-918-512



# 新体制 始動!

## 「会長挨拶」

長生ひなた・こどものひなた

渋沢 茂

(しづさわ しげる)

ウルトラマンでもターミネーターでもないけど、帰ってきてきました。一期のお休みをいただいて、今年度から再び会長を務めさせていただきますことになりました。渋沢茂です。本職は茂原市と長生郡で中核地域生活支援センター、生活困窮者自立相談、児童家庭支援センター等、相談の仕事の色々やっているNPO法人の理事長です。二〇一四年度から理事に就任。二期目の二〇一六年度から満期になる二〇二二年度まで会長を務めさせていただきます。今回は、前会長の榎林さんや副会長の山口さん等が満期で退任されることになり、彼らが行って下さった実績を引き続いて行うために、再び会長を務めさせていただきます。

日本の社会保障施策は、一九九〇年代終わりから二〇〇〇年代の初頭に行われた、社会福祉基礎構造改革によって大幅に転換されました。二〇〇〇年から施行された介護保険制度、成年後見制度、二〇〇三年からは障害者支援費制度が始まりました。これによって利用者と事業者の立場が対等になり、市町村の役割が増大、地域で使える社会資源が圧倒的に増えました。一方でこの頃から福祉の事業者はサービス事業者と呼ばれるようになりました。安心や安定を支えるセーフティネットだったはずの社会保障がサービス事業として商品化されていったのです。その結果、契約であることを理由にして事業者側から利用者との契約を解除する案が枚挙にいとまなほど生じています。事業費を不正に請求するニュースが頻繁に報



道されます。利用者と事業者の関係は決して「対等」なものとは言えません。

私たちソーシャルワーカーは、このことを改めて考えなければならぬ時期なのではないでしょうか。近年では市町村で包括的な支援体制を整備することが求められています。こどもに関する総合相談窓口を設置すること、女性の権利を尊重する「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」も

始まっています。時流をみながら社会保障のあり方を考え、発信する必要があります。

今期は新しく理事になった方も多数いらつしやいます。千葉県社会福祉士会は、気持ちのある人たちが繋がり合い、考え合うことが出来る場所です。沢山の皆さんと一緒に活動できることを楽しみにしています。どうぞよろしくお願いたします。

### 千葉県社会福祉士会体制図（任期 令和6年6月～令和8年6月）

- ◇会長 澁澤 茂      ◇副会長 古澤 肇
- ◇副会長 及川 哲      ◇副会長 白井 正和
- ◇事務局長 伊藤 佳世子      ◇事務局次長 塩原 貴子      ◇事務局次長 堀江 亜希子
- .....
- ◇理事 松本 友寿（総務委員会企画部会担当）
- ◇理事 野村 充津子（総務委員会広報部会担当）
- ◇理事 大森 匠（総合相談委員会）
- ◇理事 浅見 雅人（研修委員会）
- ◇理事 秦野 隆治（権利擁護センターぱあとなあ千葉運営委員会）
- ◇理事 石橋 大輔（松戸市居住の安定確保支援事業担当）
- ◇理事 寺崎 丈春（司法福祉委員会）
- ◇理事 服部 明（災害対策委員会）
- ◇外部理事 片山 純（千葉県精神保健福祉士協会推薦）
- ◇外部理事 中村 恒平（千葉県弁護士会推薦）
- ◇外部理事 吉留 亨（成年後見センター・リーガルサポート千葉県支部推薦）
- ◇外部理事 水野 智行（千葉県医療ソーシャルワーカー協会推薦）
- ◇外部理事 菅野 道生（日本ソーシャルワーク教育学校連盟推薦）
- .....
- ◇監事 岡本 武志      ◇監事 谷口 さなえ
- ◇相談役 榎林 元樹

## 新理事紹介 「タイムマシンがあったら 何をしたいですか？」

【会長】

長生ひなた・こどものひなた

澁澤 茂  
（しづさわ しげる）



三百年前の世界へ行って一ヶ月くらい暮らしてみたい。一七九四年は徳川江戸時代、吉宗將軍の時代です。現代に暮らす僕たちが欠かすことが出来ないもの、スマホやパソコンは勿論、車も電気も水道もありません。人々はどのよう暮らしていたのか実感してみたいです。そして、僕たちが今、必要と思っているものが本当に必要なのか見直してみたい。

三百年後の世界でも暮らしてみたい。今働いて暮らしている茂原市がどうなっているのか感じたい。僕たちが目指していた地域社会が

【副会長】

一般社団法人 みかんの木

古澤 肇  
（ふるさわ はじめ）



百年前、一九二四年（大正十三年）の過去へGO！先祖のルーツを探るため、若い頃の祖父に会う。現在、親族と作成中の家系図がようやく完成となる。歴史や意味、不思議を考えるのは、楽しい。

最近の成年後見人は、アドボカシーとソーシャルワークの両面、そして、チームケアを強く求められ、日々勉強であり、鍛えられている。

また、柏で若者支援（主にケアリーバー）、支援者の支援（ケアする人の心のケア）も実践中。キ

どのようになっているのか知りた  
い。三百年後の未来に向けて  
僕たちが今やらなければいけないこ  
とは何なのかを考えたいです。

ワードは、受援力そしてレジリエンスとセルフコンパッション。理事は、四期目。会は、繋がりや交流、学びをだいにしている。「ゆるやかな横串」を刺せるのが会の魅力。点と線から面になってきた社士会を皆さんと更に磨いていきましょう。

【副会長】  
四街道市社会福祉協議会

及川 哲  
(おいかわ さとむ)



皆さん、こんにちは。今期で三期目の理事を務めさせていただきまず四街道市社会福祉協議会の及川と申します。

さて、今回のテーマから、真つ先にドラマ「不適切にもほどがある」が思い浮かびましたが、私は百年後に行ってみたいなあと思いましたが。わりと現実路線で、自身が存在する過去や未来に影響するものでなく、自分が存在していない百年後の未来がどんな世界

になっているのか、「車で空を飛んでいる？」なんてことから、自分の所属する「社協がちゃんと残っている？」なんてことを覗いてみたいなんて思いました。皆さんは、どんな考えが浮かびましたか？どこかでお会いしたらぜひ教えてください。

【副会長】  
社会福祉法人ロザリオの聖母会

白井 正和  
(しらい まさかず)



皆さま、こんにちは二期目の理事を務めさせていただきました白井正和です。

今まで自分の人生を振り返ると多くの失敗したことを思い起こします。福祉分野で三十年以上働いていますが、自分に合っているのか、時々疑問を持つことがあります。子どもの頃、将来の仕事として「大工さん」を思っていました。無の状態から技術を駆使して建物を正確に作ることに、技術を持つこ

とは素晴らしいと思います。現在は住宅関係の広告の平面図を見ながら自分の中で設計のイメージをしています。しかしながら家族からも不器用の烙印を押されている自分があります。そのことから就職する前に戻り、人生再チャレンジをしたいと思えます。よろしくお願ひします。

【事務局長】  
千葉市中央区障害者基幹相談  
支援センター

伊藤 佳世子  
(いとう かよこ)



この度、新事務局長になった伊藤佳世子と申します。私でお役に立てるのか心配ですが、千葉県社会福祉士会の会員千七百名の方が少しでも会に入ってよかったです。える事務局運営に努めたいです。どうぞ皆様ご指導をお願いいたします。私から皆様にいろいろご相談していききたいと思えますが、私に

対しても遠慮なくご連絡いただければと思います。

さて、タイムマシンですが、怖くて使えそうありません。未来を知るのは怖すぎるし、過去を振り返る余裕ありません。今のことで精一杯で未来のためには頑張りたいけど、その結果を知ったらもう頑張れないこともあるような気がする弱い人間です。こんな私ですが、二年間どうぞよろしくお願ひします。

【事務局次長】

千葉市あんしんケアセンター千葉寺

堀江 亜希子  
(ほりえ あきこ)



タイムマシンがあったら、過去？未来？私はどっち派？としばらく考えてみましたが、夢がない回答に辿り着いてしまっそうなので、ちよつと視点を変えて、考えてみました。

タイムマシンがあったら、私はタイムマシンに乗るといふよりも、「乗りたいなあ」と思っている人の

話を聞きながら、行きたい所がどこなのか、見たい時代はいつなのかを一緒に考えて、行く場所や時代を紹介したり、背中を押ししたりすることがしたいかなあと思いました。その提案をするために、過去や未来をちょこちょこつと見に行きつつ・・・あれ？ソーシャルワークみたいなのとしようとしていますね。笑

タイムマシンもいいけど、遅刻しないように「どこでもドア」も欲しいなあ。

【事務局次長】

介護老人保健施設フェルマータ船橋

塩原 貴子

(しおばら たかこ)



やはり未来にいきたいです。未来の自分は何をしているのか、娘はどうなっているのか。旦那も(笑)元気なのか、私達夫婦はどんな余生を過ごしているのか。

未来の自分は幸せ。大好きなお酒は飲めて、大好きなキャンプには行けているのか。ほんの数十年

後の未来のほうですが、今の時代のめくるめく変化を鑑みるとたったの数十年でもそれはそれは大きな変化なのだろうとワクワクします。

思い切って百年後の未来、なんていうのも興味はありますがやはり未来は知らない方がいいのかもしれないと思う自分もいます。現在に戻ってくる時は全て記憶を消して頂き、全ての体験を(良いことも悲しいことも)フレッシュに経験したいです。

【研修委員会】

合同会社浅見福祉サービス代表

浅見 雅人

(あさみ まさと)



タイムマシンがあったとしても、私は何一つやりたいことはありません。過去は終わったものであり、未来は自分の足で歩むものであり、終わったことをクヨクヨして考え込むよりも、自分の未来をどのように進めるべきか。どのようにしたら、現状を打破できるかに注力を注いだ方が効率に良

いと考えております。ただ、過去の自分に戻りたくない理由もあります。二十歳から入社した社会福祉法人では、ほめられることよりも怒られることが多かったこともありました。ただ、今は、その経験も自分を作り上げている糧だと思っております。

今後、一つ一つの行いを大切にしながら、前向きに歩むことが、専門職として成長していきたいと考えております。

【「はあとなあ千葉運営委員会」

秦野社会福祉士事務所

秦野 隆治

(はたの りゆうじ)



研究の《時間》を作りたいですね。理論の進化に追いつきたい。先日、仲間のIさんから『ソーシャルワーク・トリートメント第六版』の出版を教えてくださいました。その七百四十八項重さ一・五キログラムの大著でした。前著第四版は二つの章を読んだだけでしたので、自分の活動年限を考え

ると今読み始めて、今日の前のクライアントに生かさなければ永遠に機会を失ってしまうと焦っています。理事として三期目になります。職能団体として規律や統制さを重んじる一方で変化や創造性も大切にしたいと思っています。権利擁護部門では、権利の源はご本人にあることに常に立ち返って活動するつもりです。よろしくお願ひします。

【「松戸市居住不安定者等居宅生活

移行支援事業業務委託」

石橋社会福祉士事務所

石橋 大輔

(いしばし だいすけ)



タイムマシンがあれば、未来への旅をしたいです。未来へ行くことで、現代の科学技術や社会の進展を知るだけでなく、未知の世界についての予測や希望を見出せると思っただけです。例えば、医療技術の進歩によって、病気や障害が治癒され、寿命が延びるかもしれません。また、クリーンエネル

ギーや持続可能な開発の普及により、環境問題が解決されている未来を目標することもできるかもしれません。さらに、未来の文化や社会の変化に触れ、異なる価値観や生活様式に触れることも興味深いと思います。希望が持てる未来を築くために、一日一日を大切に生きたいと思います。

【災害対策委員会】  
服部社会福祉士事務所

服部 明  
(はっとり あきら)



「タイムマシンがあったら、あなたは何をしたい？」と問われて、青春時代に戻って人生のやり直しをしようか、二〇六〇年に先飛びをして雲の上から日本を眺めて見ようかなど、妄想しながらフと思いました。毎週日曜日に視聴しているNHK大河ドラマ「光る君へ」が、搭乗可能なタイムマシンでない？高校時代には、源氏物語も枕草子もただ暗記するだけの受験科目のパートでしかなかった

のですが、ドラマとはいえ、紫式部と清少納言が女性であり、恋愛をし、ドロツとした人間関係の中に居て、疫病に苦しむ民衆を救うための施設として「悲田院」が出てきたり、お酒を飲み過ぎて飲水病（現代の糖尿病）を発症するなど、タイムマシン搭乗体験を楽しんでいます。

【総合相談委員会】  
社会福祉法人 薄光会

相談支援事業所 ほうきぼし  
大森 匠  
(おおもり たくみ)



以前、当法人の理事長が会議の合間に「もつといろいろなことができる」と思っていたんだけどなあ」と呟いたことがあった。理事長は法人で三十年以上勤務し兼務の施設長歴も長かった。そのような方の呟きに驚きと、ことを為すことの難しさを考えたことを覚えて

私も職歴を重ね、その時の判断の連続で今があり、今後もそれが続く。過去に戻って安易な修正を加え、未来に行って答えを確認してしまおう、思いもよらぬところで辻褄が合わなくなるのではないかと思う。

タイムマシンが無いから今を大切にしようと思うか。私はそれには乗らずに誰かにお譲りすると思う。夢のマシンを前に、自分に合った歩幅やペースを大切にすることを確認したい。

【総務委員会 企画部会】  
八街市北部地域包括支援センター

松本 友寿  
(まつもとともひさ)



タイムマシンがあったら、今日間違いを起こしたり、失敗したときに遡ってやり直したいです。期間限定イベントに気づかず、あとから知った際に時を戻したい。楽しかった時に戻りたい。逆に未来にはいきたくない。先のことを知

【総務委員会 広報部会】  
のむらソーシャルワーク・オフィス

野村 充津子  
(のむら みつこ)



時空の旅が自由にできて、現在の自分に返ることができれば……自分が生きている間には経験し得ない時間と空間を飛び回って、その時代に溶け込んだ生活してみたい。書物では味わえない歴史上の空気を感じながら、京や江戸の街ブラ体験。縄文時代や弥生時代の土器づくりから、平安・鎌倉の備前焼修行。少し先の未来から想像もつかない未来でテクノロジーの発展を体感。未来の社会福祉士（未来でも社会福祉士の必要性はある！はず・・・）との座談会。やりたいことは果てしない。そして最期の自分に「楽しかったね。お疲れさま。」と声を掛けて時空の旅を完結できたら大満足です。

「司法福祉委員会」  
有料老人ホームディアコート信合

寺崎 文春  
(てらさき たけはる)



二十六年後の未来に行き、二〇五〇年問題が市場にどのような影響を及ぼしているのか、また政府や企業はどのような対策を講じているのかを見てみたいと思います。

過去に起きたことは変えられませんが、これから起こることは必ず予防や対策することができると信じております。二〇五〇年には少子化により日本の人口は一億人を割るとされており、さらに人口の約四割が六十五歳以上の高齢者となる予測です。

高齢者介護においてはどれくらい施設から在宅へシフトされているのか、どのような新しい社会資源が生まれ、どれくらいAI化ロボット化がされているのか。

そのような未来を目標として、二〇五〇年問題の課題解決を楽しみたいのです。

### ストレート ネックマンの部屋

今回のゲストは千葉保護観察所ご勤務の小野亮平（おのりょうへい）さんです。趣味は旅行、写真はカナダへの旅のひとコマですって！

『小野さんは社会福祉士として千葉保護観察所ではどんな仕事を？』

犯罪や非行をした者（以下、「対象者」という）が再び犯罪や非行を繰り返さず改善更生できるように、その者が生活する地域社会において指導し、家庭、就労、交友などそれぞれに適切な居場所を確保できるように、地域社会と連携をしながら、対象者を援助する仕事です。

『実際に働いてみて、「司法の中にある福祉職」としての難しさは？』

刑務所の福祉専門官として勤務しているのは、多くの職員は受刑者が刑務所の中で事故なく刑を受けさせることが何より重要であり、受刑者の社会復帰支援は優先順位としては低かったと思います。国



としては「刑罰だけではなく、刑を終えた者が社会に戻った時に居場所と出番を作ること、再犯をさせない」環境を整えることを求めています。現場ではまだまだ「再犯をして刑務所に戻ってきたも自己責任であり、支援する必要があるのか」といった雰囲気がありました。司法は法的に問題に対して対処する、つまり刑務所では刑罰を科すまでが重要であり、そこから先は自己責任の問題であるという認識を持つ職場雰囲気の中で、福祉職が対象者の権利擁護に寄与しながら、社会復帰支援をするという役割であり、それを司法と福祉の連携と認識されるまで苦労しました。

『それに対する小野さんの打開策は？』

「郷に入っては郷に従え」じゃないですけども、私には必須ではないけれども他の刑務官と一緒に護身術の訓練をして護身術検定を受けるなど、刑務所文化に飛び込みました。同じ組織で働く上で、司法としての刑務所の文化を知ることには必要だと思いました。ある程度お互いの文化を知り職種の距離を縮めることで、刑務所の中の司法と福祉の連携について協議できるようなのかなと思って取り組んでいました。

『具体的な支援の内容は？』

勤務していた刑務所は初犯の刑務所で当時千人前後の受刑者がいました。その中には高齢者や精神障害・発達障害等を持つ方も多く、これまで福祉支援を受けた経験がない人も多かったため、支援を受けて社会生活にチャレンジしてみようかなと思わせることが一番の役割ですね。格好良く言うと、信頼関係を作り支援の動機付けが大きい役割でした。刑務所の話ば

かりになってすみません。

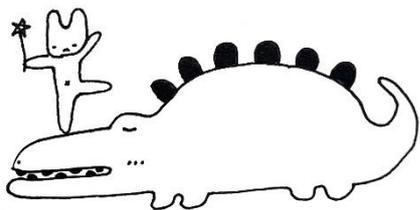
保護観察所での仕事の話に戻すと、担当地区での保護観察業務の他に、薬物依存者へ認知行動療法を用いた集団プログラムを担当しています。対象者からは、「薬物を使ったこともないのに」など言われながら、日々苦戦をしながら対応しています。薬物依存の対象者が社会で安定した生活を送るには、保護観察所でのプログラムで完結できるものでなく、地域支援を受けて、地域で孤立しない生活が必要だと考えていますが、これがなかなか難しく課題に感じています。医療機関や自助グループに同行して一緒に参加するなど、地域へ繋がるきっかけ作りも考えていました。刑務所で働いていた時とまた別な視点に立って支援しています。

『これからの展望は?』

保護観察の対象者は、少年から六十五歳以上高齢者、精神障害や発達障害を持つ人、その境界にいる人など、大なり小なり生きづらさを抱えるなかで、犯罪や非行に至っている方が多いです。当然、

保護観察官として指導的な関わりも必要ですが、対象者が出所した後には地域の中でどう受け止めてもらえる環境を作るのか、ソーシャルワーカーとしてのプレッシャーや難しさを感じます。ですが、自分がいままで経験した職種や職場での経験を活かし、司法領域のソーシャルワーカーとして社会の中で支援が必要な人たちと関わっていこうと思っています!

大変興味深いお話をありがとうございました。他にも貴重なお話がありました。紙面の都合で掲載できないのが残念!講演など個別に対応してくださるそうです。



地域集会  
福祉道場

『福祉道場』第百回を越えて

『自らの力で門を開こうとする者の前にのみ、道は現れる』

平成十九年五月十六日、第一回福祉道場が開催されました。柏市教育福祉会館の和室に、入りきらないほどの参加者の熱気でのぼせてしまいそうになったことを思い出します。

「少人数でもいい、定期的に集まって情報交換をする場が欲しい」福祉道場を立ち上げる際に、発起人となった仲間の共通の願いでした。それまでは、柏・我孫子・野田・流山地区の地域集会として、百から百五十人を集める会を企画していました。会場も大きく、経費もかかるため、運営はかなり大変でしたが、その企画の過程にこそ自分たちが求めている「つながり」が得られる、ということを感じていたのも事実です。

しかし、企画を練っていく過程で集まる仲間の絆は強く結びついていくのですが、肝心の集会ではたくさんの方が集まってくれない、一人ひとりとゆっくりお話ができず、だんだんと、全員と有機的なつながりを持つことに難しさを感じるようになってしまいました。

『年に一回ではなく、二カ月に一度くらい、顔を見ながら話ができる規模で』『参加者同士がネットワークを作れるような機会を』『経費はかけられないが講師はどうする?』『地域を作ってきた先輩たちの話が聞きたい』『若手や中堅の福祉職人が人前で話す機会になれば』『新たなネットワークづくりの場を作ると決めたら、それぞれの思いが止めどなく溢れてきました。』

第一回の日程と会場を決め、この集まりを『福祉道場』と命名すると一気に生命が吹き込まれました。やはり「名付け」って大事ですね。

第一回は、宣伝をたくさんしたことや、皆さんが「どんなもんな

「んだろう」と思ってください。私も影響したのか、五十人近い福祉職人が集まりました。稽古は二本立てで、地域を作ってきた先輩を最高師範として、もう一本は発起人の内の一人が師範代として登壇しました。終了後の感想も好評で、次回以降への期待もひしひしと感じました。以降、講義形式以外にも、サイコロトークやカードゲーム、ビブリオバトルなど面白そうなのはなんでも取り込んできました。

以降、百回に至るまで、胸を張れることが二つあります。福祉道場の稽古は、毎奇数月の第三水曜日に開催することになっているのですが、開催できなかったことが二回しかないことが一つです。東日本大震災の発災直後の平成二十二年三月十六日と、新型コロナウイルスの感染拡大が始まった令和二年三月十八日の二回です。どちらの時も、有事の際に【福祉道場】を開催することの是非については悩みましたが、大事なことは「出来ることは続けること」だと話合

い、次の五月には開催をしました。コロナの時は、オンラインでの開催という副産物もあり、その後も企画の一つとして取り入れています。もう一つの自慢は、第一回から百回まで、常に「初めて参加します」という方がいらっしやることです。これは、参加した方が知り合いを連れて来てくださるから、広く紹介して下さっていることに感謝感激しています。

福祉道場が百回を越えて続けて来られたのは、ある意味「目標」や「理想」を持たなかったからかもしれません。参加人数が五十人を超えることもあれば、四人しかいないこともありました。人数が多ければ多いなりに、少なければ少ないなりに学ぶことはあります。人数を集めることや、何回まで続けよう、ということも考えず、その時に一番聞きたい話をしてくれる師範をお呼びし、一番やりたいことをやる、企画運営する側が一番楽しんでることが、ここまで続いてきた、またこれからも続けていきたい理由なのだと思います。

冒頭の言葉は、福祉道場からのメールの署名として書いている言葉です。これには次のような続きがあります。

『道を探そうと努力し続ける、その背中を押す手でありたい』

福祉道場 Facebook

<http://www.facebook.com/fukushidojo>



インタビュー

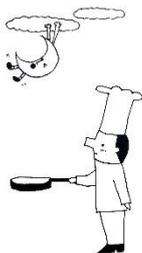
# 外国人労働者支援から考える 多文化共生社会

福祉サービスを利用する方に、外国籍の方が増えています。中には、要介護高齢者の妻が外国籍の方で介護や医療従事者とコミュニケーションがうまく取れず支援が難航したり、外国籍の障害児の放課後デイの受け入れ先を探すのがハルフードの対応可能な事業所がなく行先に困る等、支援困難ケースとして受け取られている現状があります。そこで、ばあとなあ会員として後見業務に携わる一方、行政書士として、在留資格の取次申請手続きを始めとした外国人支援を行う土井氏に、外国人支援の実情と多文化共生社会に社会福祉士としてどう向き合うべきか伺いました。（取材 山口利史）

《特定技能について教えてください》  
日本人だけでは、今や社会の労働力を賄うのに限界が来ています。二〇一八年十二月入管法改正で特定技能資格の外国人労働者の受け入れが広がりました。介護施設での介護人材もそこに大きく期待が寄せられています。受け入れ先となる企業は、日本人と同等の労働条件にしなければなりません。それを伝え、日本での生活を支援するための支援計画も必要です。その支援を登録支援機関に委託できます。私自身はインドネシア人、ミャンマー人などの支援に関わってきました。今は、十人程度支援計画の作成とその支援をしています。

《支援で気を付けていること》  
皆、介護福祉士の資格をとろうと目標をもって頑張っています。が、家族への送金の負担は経済的にも精神的にも負担が大きいようです。また、宗教や食などについて受入機関と本人とのパイプ役になるよう気をつけています。要するに「日本のお父さんの役割」を担えるよう努力しています。

《多文化共生のためにやるべきこと》  
外国人の仲間同士だからこそ解決できるトラブルもあります。外国人コミュニティでのキーパーソンと僕ら日本人が繋がっておくことでトラブルがあつたときに頼れる関係をもっていくことも大事です。デンマークでは、移民に対してのデンマーク語の教育システムがどんどん出来ているのですが、日本はまだ少ない。正面から外国人の子どもなどを移民として受け入れる政策が必要です。



《民族性の違いを感じることはありますか》  
例えば、受け入れ機関が「遅刻しちやだめだよ」と叱った場合、人前で叱られたこと自体に大きなショックを受けてしまう人種もあります。ベトナム人で南部出身と北部出身だと馬が合わないため同部屋にしない方が良いということもありました。東南アジアは性別が十八種類あると言われていました。日本のジェンダーの感覚が遅れていると認識した方が良いでしょう。

まずは、社会福祉士が受容すること。まずもって国の歴史や民族性というのはこちらからやっばり学ばないといけないと思います。

## 土井 義昭

ド牛福祉法務事務所代表 社会福祉士・行政書士  
(事業内容)

相続手続支援業務／成年後見制度活用支援業務／福祉サービス利用に関する相談援助／権利擁護に係る相談及び福祉相談／要支援者の地域生活支援／介護ビジネス起業・運営支援／市民講座、学習会、イベントなどの企画、講師の派遣／広報、啓発、情報提供活動／介護保険事業コンサルタント・アドバイザー／福祉第三者評価事業 評価員 等

また、行政書士として、会社、NPO法人等の設立サポート等を行う他、日本で生活する外国人の力になりたいとの思いから、入国管理局への申請取次等を行っている。



# 社会福祉士の

# わ

専門職成年後見人

梶原 幸夫（かじわら ゆきお）

袖ヶ浦市在住の社会福祉士の専門職として後見人の仕事をしている梶原と申します。

社会福祉士として後見業務をしながら、木更津市社会福祉協議会で週二日、後見関係の仕事もしています。後見業務も十四年目になったので、在住の袖ヶ浦市社会福祉協議会の法人後見の運営委員、権利擁護推進会議委員、権利擁護支援定例会議で専門職アドバイザー等も行っています。被後見人の後見業務だけでなく、木更津市社協と袖ヶ浦市社協で関わる中で、考え学ばされることがたくさんあります。後見業務を他人事として行っていました。将来の自分事として考えるようになりました。

後見人が足りない状況を見ると、将来自分が後見人が必要とするときに、後見をしてくれる人がいないことが予想されます。後見人を増やしていく事、さらには、後見人がいなくても支え合える地域づくりがないと大変なことになる感じ、後見活動は自分事なのだと強く感じるようになっていきます。

現在、二つの市の社協に係り、社協職員、市民後見人さんとも関わりを持たせてもらっています。それぞれの方々は本当に頑張っておられます。ただ、経験が少ないのでわからない事や戸惑ったりすることもあり、そんな時に多少の経験のある私が話を聴きアドバイザーすると、とても喜んでくれます。また、後見人が足りない状況の中で、市民後見人の養成が各市で取り組まれてきています。私自身、

市民後見人には否定的でしたが、制度として動き出している以上、私たち社会福祉士が積極的に関わり、実のあるものにする義務があるのではないかと思います。

以上のように考え関わりを持つようになったのは、後見人をやり始めましたがわからないことが多く、わからない者同士が集まって勉強会を始め十二年程になります。初めは、社会福祉士の後見人だけでしたが、後見に関わっている市、社協の職員にも参加してもらおうになりました。現在では袖ヶ浦、木更津、君津、富津の四市・社協職員、市原市から鴨川市までの社会福祉士が参加するようになってきています。この勉強会の中では事例検討、利用促進法、市の報酬助成制度（今後四市の統一化）、市民後見人養成講座の広域化等が議論されています。何よりも、お互いが顔の見える関係の中で、ケースのマッチング、お互いの連携の仕方、報酬助成制度の改善等が取り組まれるようになってきています。

暮らしの中での問題が多岐、新しい問題等が出てきて、今までの制度では対応できなくなっています。対応できなければ、対応できるようにどうしていくのか……。そんな視点をもってソーシャル・アクションしていけるのは社会福祉士ではないでしょうか。皆さんはどのように思いますか？

一人で取り組むのは大変です。周りの人と連携し、少しでも暮らしやすい地域にしていければと考えています。



## 事務局便り

今年も暑い夏が来ました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。  
さて、会員のみなさまのご協力のもと、第12回定時総会を無事に開催することが出来ました。ご出席いただいたみなさま、書面表決・委任状をご送付いただいたみなさま、ご協力ありがとうございました。  
今後とも、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。  
お忙しい日々をお過ごしのことと思います。暑さますます厳しき折、くれぐれもご自愛ください。

## 研修等・行事のお知らせ

※研修等が新たに決定した際にはホームページに随時掲載致します。是非チェックしてください。

千葉県社会福祉士会ホームページ：<https://www.cswchiba.com/>

【以下、今後の研修予定】

- ・研修委員会-実習指導者講習会他
- ・権利擁護センターぱあととなあ千葉運営委員会-必須登録員研修2、レベルアップ研修、ぱあととなあ千葉サポート、支援者のための成年後見制度活用講座他
- ・司法福祉委員会-刑事司法ソーシャルワークの実務・応用編

## ようこそ！千葉県社会福祉士会へ

氏名	居住地	勤務先	氏名	居住地	勤務先
三好 伊代	—	—	伊藤 久子	千葉市緑区	看護小規模多機能楽隠居
池田 奈巳	船橋市	サンセール市川	田子森 美洋子	船橋市	社) さざんか会
田中 教仁	千葉市緑区	—	小野 亮平	千葉市稲毛区	千葉保護観察所
鈴木 勝巳	市原市	NPO 法人光と風と夢	櫻井 慎一郎	—	—
佐藤 理映子	—	—	福田 勢津子	市原市	—
花木 広伸	—	—	浜田 優	千葉市中央区	—
君塚 宣明	—	社) 聖隷福祉事業団 浦安 せいれいの里 浦安愛光園	澤田 安識	—	社) まほろばの里
二橋 千鶴	—	のぞみの花クリニック	峨家 慎一	—	—
泉山 裕紀	—	いそひよ相談室	渡辺 千賀子	柏市	—
越智 真吾	—	社) かたくり会	鹿島 捷吾	—	—
島村 和美	船橋市	ケアプラン和かけはし	池田 勉	市原市	—
中村 圭紀	—	—	中野 さおり	—	医) 柏水会 初石病院
宇田 茂	松戸市	馬橋地域包括支援センター	門永 峻介	我孫子市	ご長寿くらぶ
藤田 和希	—	—	鈴木 真理	—	社) ロザリオの聖母会 海上療養所
名川 文清	柏市	—	山田 知巳	茂原市	—
桃井 厚史	—	社) 流山市社会福祉協議会	伊藤 裕子	我孫子市	NPO 法人ハートネットあびこ
清水 智樹	—	—	吉田 光幸	匝瑳市	八日市場学園
児玉 三紀	千葉市美浜区	社) みらい工房 地域生活 支援センターみらい工房			

※正会員登録書「点と線掲載の可否」の項目で、可に○を頂いている方のみ掲載しております。(順不同・敬称省略)

### 2024年5月8現在の会員数

正会員 1,642名、 準会員 1名、 賛助会員 2名 合計 1,645名